

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

10月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は0件で、4月の1件以降発生はありません。

小児科定点

（全体傾向）

報告総数2790件（前月比：0.93、前年比：2.35）と昨年同時期と比べると高い推移を示しています。RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナの報告が多くなっています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 141件（前月比：0.6、前年比：141.0）の報告です。今年1月より例年になく流行があり4月をピークに減少傾向が続いていました。先月報告が再度増加しましたが今月は減少しています。年齢は1歳中心です。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数14件（前月比：0.3、前年比：0.3）と低い水準を推移しています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数42件（前月比：1.4、前年比：0.3）と低い水準を推移しています。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数850件（前月比：1.2、前年比：1.8）と昨年とほぼ同様の動きです。1歳をピークに全年齢層から報告があります。菊池（定点あたり38.0）、有明（同32.4）、人吉（同29.0）で報告が多くなっています。
5. 水痘 : 報告数14件（前月比：0.8、前年比：0.4）と低い水準を推移しています。
6. 手足口病 : 報告数1129件（前月比：0.7、前年比：19.8）と先月より減少しているものの昨年より高い水準で推移しています。年齢は1～2歳が中心です。特に菊池（定点あたり54.6）、有明（31.4）、宇城（28.8）からの報告が多くなっています。
7. 伝染性紅斑 : 報告数1件（前月比：0.5、前年比：0.2）と低い水準を推移しています。
8. 突発性発疹 : 報告数136件（前月比：0.9、前年比：0.7）と例年同様の推移とされます。
9. ヘルパンギーナ : 報告数285件（前月比：2.8、前年比：5.8）と先月より患者数が増加しています。年齢は1～2歳が中心です。菊池（定点あたり10.8）、天草（8.0）からの報告が多くなっています。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数7件（前月比：0.5、前年比：0.4）と低い水準を推移しています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数19（前月比：1.1、前年同月比：0.8）、熊本17件、有明2件の報告です。年齢別では20～29歳に多発していますが、30～49歳にも散見されます。乳幼児層（0～6歳）は5歳に1件のみです。

STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：

報告数76件（前月比：1.1、前年同月比：1.2）で、前月比・前年同月比ともに軽度増加しています。男女別は男性は50件、女性は26件でした。年齢別では男性は20～64歳に、女性は15～39歳にみられていました。地区別件数は、熊本市が54、他は有明と御船が7、宇城と八代が4でした。

2. 性器ヘルペスウイルス感染症：

報告数19件（前月比：0.9、前年同月比：1.6）で、前月比で微減ですが、前年同月比では増加しています。男女別は男性が8件、女性は11件でした。年齢別では男性が20～59歳、女性は20～70歳以上と、特に女性で幅広い年齢層にみられていました。地区別件数では八代が8、熊本市が7、菊池が2、有明と宇城が1でした。

3. 尖圭コンジローマ：

報告数は12件（前月比：2.0、前年同月比：1.3）で、前月比で倍増、前年同月比では軽度増加でした。男女別では男性が8件、女性が4件で、年齢別では男性は20歳～49歳、女性は20歳～54歳にみられていました。地区別件数では熊本市が9、菊池、御船、宇城が1でした。

4. 淋菌感染症：

報告数は30件（前月比：1.6、前年同月比：1.6）で、前月比・前年同月比は共に増加しています。男女別では男性が27件、女性は3件で、年齢別では男性は15～70歳以上と幅広い年齢に、女性は15～24歳にみられていました。地区別件数では熊本市が27、菊池、有明、宇城が1でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：

報告数は12件（前月比：1.0、前年同月比：0.6、男女比：8/4）と横向き推移でした。阿蘇（4）、有明（3）、熊本・人吉（各2）、水俣（1）でした。年齢分布としては70歳以上（7）、65-69歳（3）、45-49歳、60-64歳（各1）と高齢者に多く認められました。
▼例年より少なめの報告数でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：

報告数は3件（前月比：0.8、前年同月比：1.0、男女比：2/1）と減少傾向でした。熊本（3）でした。年齢分布としては1-4歳（1）、70歳以上（2）でした。
▼例年並みの報告数でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-、男女比：-/-）で報告はありませんでした。
▼例年並みの報告数でした。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎：

報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年並み、やや少なめの報告数となっています。

2. 無菌性髄膜炎：

報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年並み、やや少なめの報告数となっています。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数です。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼本年度は引き続き報告がありません。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼本年度は引き続き報告はありません。

届け出対象感染症

| | | |
|---------------|----------------|-----|
| 1類感染症 | ： 報告はありませんでした。 | |
| 2類感染症 | ： 結核 | 9件 |
| 3類感染症 | ： 腸管出血性大腸菌感染症 | 1件 |
| 4類感染症 | ： 重症熱性血小板減少症候群 | 1件 |
| | 日本紅斑熱 | 3件 |
| | レジオネラ症 | 8件 |
| 5類感染症 | ： アメーバ赤痢 | 1件 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 2件 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 1件 |
| | 梅毒 | 14件 |
| 新型インフルエンザ等感染症 | ： | |
| | 新型コロナウイルス感染症 | 94件 |